

事業所名		放課後等デイサービス くえすと				支援プログラム		作成日		令和 7 年		3 月		18 日	
法人（事業所）理念		【創造】農業、物造り、友だち作りなど様々な「造る」を通して未来の自分を思い描き、多様な個性の中で唯一の「自分」を「創る」 【探求】「遊び」の中から協力することの大切さや、規律の重要性を学び「未来の自分」に必要な知識を「知恵」に変えてく 【挑戦】困難や難題にぶつかった時に、失敗を恐れずに何度も立ち向かう「勇気」と諦めない「継続力」を育てる													
支援方針		5領域のプログラムを基とし、社会生活を送るうえで必要な対人関係やコミュニケーション能力を養い、【創造】【探求】【挑戦】を三つの柱として、子どもたちのそれぞれの「個性」を大切にし、他者の「個性」を尊重できるような「成長」の場を提供します。													
営業時間		9 時		00 分から		18 時		00 分まで		送迎実施の有無		ありなし			
		支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	・検温や健康状態の確認を行う。手洗い、うがい、消毒、水分補給などをルーティーン化し、自ら健康で安全な生活を送れるように支援する。 ・身の周りの清掃、食事、衣類の着脱、排泄などの生活に必要な基本的技能を身につけるように支援する。 ・大きな歯ブラシの模型を用いたり、衣類の着脱ゲームなど、遊びやゲーム感覚で健康や生活に関するスキルを身につけていく。													
	運動・感覚	・ピアノで音やリズムを楽しんだり、公園遊びや集団遊びを通して体幹を鍛えたり、五感を通した遊びを提供する。 ・本人の特性を考慮し、パニックや感情の高まりなどで集団で過ごすことが難しい場合は、落ち着ける場所へ移動して個別の対応をする。 ・社会生活を送るうえで必要な動作の改善、習得、向上を図る。													
	認知・行動	・日々の活動プログラムをホワイトボードに書き出し、自らスケジュールや活動のルールを確認し、行動できるように支援する。 ・折り紙、工作、ブロック遊び、塗り絵や課題などの活動を通して、形の大きさや重さ、色の違いなどの認知能力を養う。 ・調理実習、おやつ作りなどの活動を通して、作る過程を経験し、食育を行う。													
	言語コミュニケーション	・状況に合わせた基本的な挨拶ができるように支援する。 ・自分の思っていることを自分の言葉で言えるように支援するとともに、他者の意見にも耳を傾けるようになるよう関わっていく。 ・宿題や課題を通して、文章の読む力、文字を書く力をつける。分からない所は辞書などを用いて自分で解決していく力を身につけていけるように支援する。													
	人間関係社会性	・他者との関わりを通して、人間関係を築き、周囲の人と安定した関係性を作っていくための支援を行う。 ・川遊びや火おこしからする焼き芋など、非日常的な活動を通して他者と協力して過ごす中で、協調性を養う。 ・職員は見守りつつ安全面に最大限配慮した中で、危険予知を自分で考えて何事にも挑戦する精神力を養う。													
家族支援		・定期的な面談 ・家族が参加できるイベントの実施 ・児童や保護者の悩みや困りごとの相談支援						移行支援		・児童や保護者の移行に関する悩みや困りごとの相談支援 ・関係各所との情報共有					
地域支援・地域連携		・地域の清掃活動 ・町内会への活動参加						職員の質の向上		・事業所外研修への参加 ・他施設との交流、勉強会 ・職員研修、救急時の対応などの医療研修の実施、参加					
主な行事等		・季節に合った外出支援やイベント ・毎月お誕生日会(誕生日がない場合はお楽しみ会) ・他事業所との交流 ・調理実習 ・不登校児対象のゴミ拾いボランティア													